日本のサイバーセキュリティを「連携」「学び」「創造」

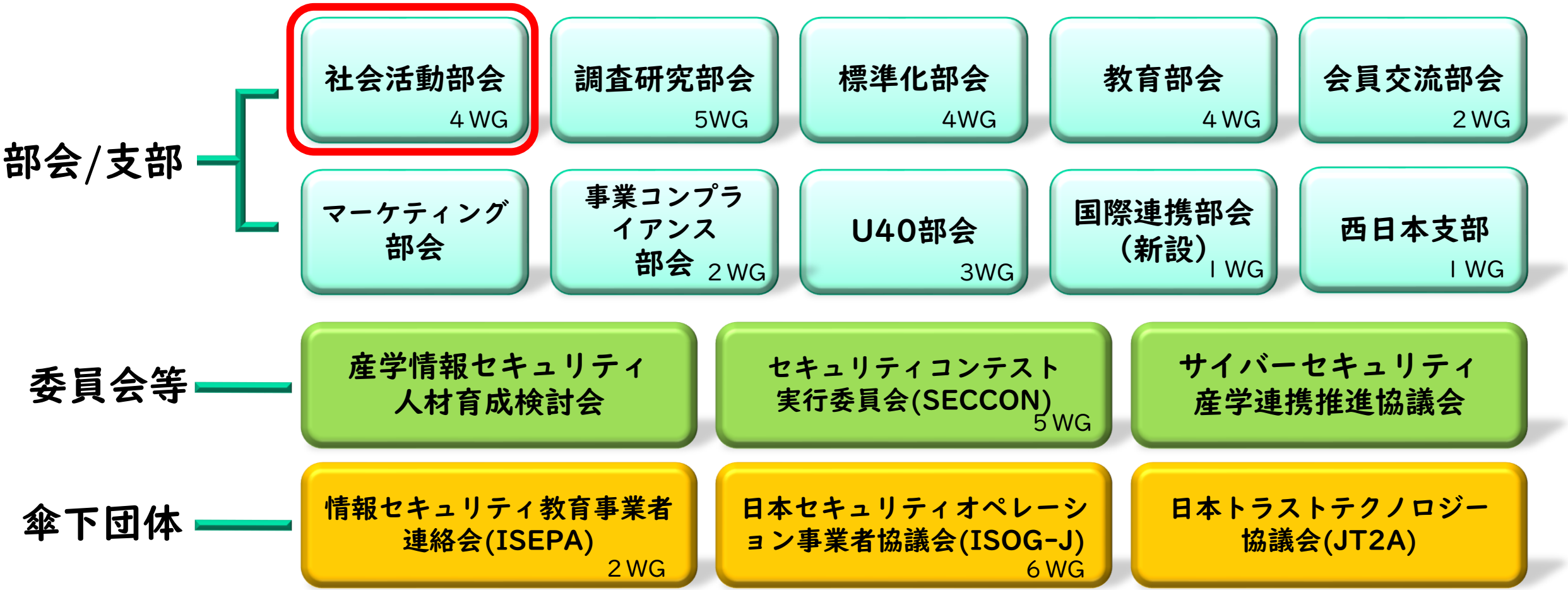
JNSA活動報告会

社会活動部会の紹介

2026年7月24日

部会長：唐沢 勇輔（Japan Digital Design 株式会社）

JNSA活動全体図



※WG：ワーキンググループを表す。合計40WG（2023.8現在）

社会活動部会とは

JNSA

JNSA活動の企画検討、
対外連携を担っている部会

社会活動部会でやっていること

定期的なもの

- 毎月の部会開催（原則、毎月第一木曜日 16:00～18:00）
- JNSAメルマガのコラム記事検討

不定期なもの

- 省庁との意見交換会
- 会員勉強会（JNSA会員向け勉強会）
- 記者懇談会（プレス向け勉強会）

毎月の部会での議論していること

定常的に議論しているアジェンダは以下の通り。
これ以外にセミナーの企画などを議論することも。

1. 重要セキュリティニュース振り返り
2. メルマガ、しんだん、勉強会
3. パブコメ
4. IT団体連盟（セキュリティ委員会）
5. 各WGの状況
6. 関係省庁や団体との動き
7. 記者懇談会・記者向け勉強会
8. 政策提言について

こんな方におすすめ

- 専門家の間で話題になっているセキュリティニュースにどんなものがあるか知りたい
- セキュリティ業界や政策の動向を知りたい
- JNSAの活動に関与、貢献したい

突然ですが

JNSA

評判のよかったメルマガコラム記事
ランキング発表！(2025年度)

JNSAメルマガについて

- JNSAで配信している会員向けメールマガジン（原則 隔週金曜日発行）を、会員以外の方々へも配信
- 読者数：会員・非会員あわせて5000名超
- 配信内容
  - 連載リレーコラム
  - 部会/ワーキンググループからのお知らせ
  - セミナー/イベント情報（不定期）
  - 事務局からの連絡、お知らせ など

コラム記事アンケート

【お問い合わせ】
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【JNSA西日本支部からのお知らせ】
JNSA西日本支部では、工場セキュリティに関するセミナーやイベントを定期的に
開催しています。また、メンバーも随時募集しています。ぜひご参加ください。

（※事務局注：部会・ワーキンググループへのご参加は原則として
JNSA会員の方のみとなっております）
＃連載リレーコラム、ここまで

＜お断り＞本稿の内容は著者の個人的見解であり、所属団体及びその業務と
関係するものではありません。

＜ワンクリックアンケートお願い＞
今回のメールマガジンの感想をお寄せください。
https://tinyurl.com/3hykzv7u
※googleアンケートフォームを利用しています。

【JNSAイベントのお知らせ】
★「JNSA2025年度活動報告会」（オンライン）
2025年7月23日（水）～25日（金）　3日間開催！！参加受付を開始しました。

評判の良かった記事ランキング

順位	対象号	タイトル	合計得点	平均点	総合スコア（正規化平均）
1位	第324号	損益計算書をベースに「サイバー攻撃による被害額」を考えてみる（2025.10.31配信）	52	4.73	0.922
2位	第340号	改正個人情報保護法案の「紛糾」を解剖する（2026.6.12配信）	51	4.64	0.886
3位	第325号	BlackHat Briefings 2025 参加記（2025.11.14配信）	34	4.86	0.772
4位	第333号	ブラウザ拡張機能の悪性化とその対応（2026.3.6配信）	33	4.71	0.721
5位	第312号	法人を狙うインターネットバンキング不正送金被害の急増（2025.5.16配信）	35	4.38	0.644

※配信号ごとに「合計得点」と「平均点」を出したうえで、それぞれを0～1に正規化し、平均した値を総合スコアとして算出

第324号：損益計算書をベースに「サイバー攻撃による被害額」を考えてみる（2025.10.31配信）

- 神山太朗氏（あいおいニッセイ同和損害保険）／JNSA調査研究部会 インシデント被害調査WGリーダー
- WGの活動：インシデント発生時の経済的損失に焦点。事業者ヒアリングや被害企業アンケートを基にレポート公表（2025年7月に過去7年半の最新レポート公表）
- 課題：多くの企業が自社の「被害額」を十分・正確に把握できていない
- P/Lフレームで被害額を可視化。売上高100億円企業がランサムで売上4割減となるモデルケースを例示
- ★固定費：事業が止まっても人件費・賃料は発生。損失として把握できていないケースが多い
- ★営業利益：売上減と固定費負担で赤字転落の可能性
- ★特別損失：フォレンジック・お詫び・復旧・再発防止費用、取引先への損害賠償金も計上
- ★特別利益：サイバー保険金が該当。「損失額＞支払限度額」となるケースも多く、契約内容の再点検が急務
- 「情報セキュリティ10大脅威2025」で組織編1位はランサム攻撃。損失額を正しく見つめ、現実的かつ持続的な対策を

第340号：改正個人情報保護法案の「紛糾」を解剖する（2026.6.12配信）

- 若江雅子氏・朝日新聞東京本社編集委員
- 5月26日に衆院通過、参院で審議中。過去の改正と異なり大きく紛糾
- 争点：AI開発・ビッグデータ活用を目的とした「統計等作成目的の特例」で同意原則に穴
- 要配慮個人情報の第三者提供も同意不要となり、オプトアウトも認められない
- 「統計等作成者」のハードルが低く、悪質事業者の参入や漏洩リスクが懸念
- 課徴金は違反で得た額の範囲内に留まり抑止力が弱く、団体訴訟制度も削除
- 大臣答弁は「性善説」。入口規制も出口規制も不十分な穴だらけの制度
- 統計処理「後」も、AIモデルの記憶リスクやプロファイリングによる差別のおそれ
- 厚労省も懸念文書を提出。オープンで丁寧な議論が必要

第325号：BlackHat Briefings 2025 参加記（2025.11.14配信）

- 二木真明氏（アルテア・セキュリティ・コンサルティング）
- 8月6～7日、米ラスベガス開催のBlackHat Briefingsに参加
- Mikko Hypponen氏キーノート：「攻撃が巧妙化する中、セキュリティ責任は基本的に専門家が負うことになる」
- ETW（Event Tracing for Windows）の脆弱性を悪用したEDR回避 — OSベンダーのAPI品質向上が課題
- Apple AirPlay SDKの脆弱性 — 家電メーカーのファームウェア更新体制がIoT時代の喫緊の課題
- 標的型メール訓練の効果に疑問を呈する研究 — 「訓練より技術的対策に費用をかけるべき」との衝撃的結論
- EV充電コントローラから意図的な発火可能性 — CPU乗っ取り前提の物理安全措置の不備
- 技術的深掘り講演から刺激を受け、展示会の大型化も印象的だった

第333号：ブラウザ拡張機能の悪性化とその対応（2026.3.6配信）

- 宮本久仁男氏（NTTデータグループ NTTDATA-CERT セキュリティマスター）
- ブラウザ拡張機能：Chrome/Edge対象。翻訳、広告ブロック、マイナポータル等で広く利用
- 悪性化の3パターン：(1)権利売却先が悪意ある機能を実装 (2)開発者アカウント乗っ取り (3)最初から悪意で普及後に発動
- 悪性化するとCookie・認証情報・入出力情報の窃取、C2サーバへの送信などが可能
- 被害事例：ChatGPT対話を盗む拡張、ShadyPandaによる7年間の攻撃で430万人が感染
- 原因：新規登録時に比べ更新時のストア審査が緩い
- 対策：悪性化リストと突合し削除、同期を無効化、原則使わず必要時のみ有効化（chrome://extensions、edge://extensions で確認）
- セキュリティベンダーも対応中：Palo AltoによるKoi Security買収など
- 完全に避ける方法はなく、ニュース収集と新製品情報の逐次確認が重要

第312号：法人を狙うインターネットバンキング不正送金被害の急増（2025.5.16配信）

- 田中しおり氏（ラック サイバー・グリッド・ジャパン 金融犯罪対策センター）
- 2024年の不正送金被害額は約86億9,000万円。特に2024年秋以降、法人被害が急増
- 2024年秋以降 約50社・20億円超と報道。山形鉄道の約1億円被害も話題に
- 手口：Vishing（ボイスフィッシング）— 銀行を騙る自動音声からメールアドレスを聞き出し、フィッシングサイトへ誘導
- ID・パスワード・ワンタイムパスワードを詐取 → 不正ログイン・不正送金を実行
- 追加認証も、再度電話をかけて聞き出すケースを確認
- 法人は1回あたりの取引上限が高く被害が高額化しやすい
- 対策例：送金プロセスの厳格化、取引モニタリング、迅速な注意喚起の体制整備
- 1つの対策で完全に防ぐことは困難。複数対策の組み合わせが重要

ぜひ部会にご参加ください
（ご興味をもっていただいた方は事務局まで）